

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成17年5月26日(2005.5.26)

【公開番号】特開2003-5085(P2003-5085A)

【公開日】平成15年1月8日(2003.1.8)

【出願番号】特願2001-185183(P2001-185183)

【国際特許分類第7版】

G 02 B 21/24

【F I】

G 02 B 21/24

【手続補正書】

【提出日】平成16年8月4日(2004.8.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

倒立顕微鏡本体に着脱自在に設けられるものであって、前記倒立顕微鏡本体の設置部より延出され、先端部に脚部を有する延出部が形成された転倒防止部材を具備することを特徴とする倒立顕微鏡転倒防止機構。

【請求項2】

倒立顕微鏡本体に角度調整自在に設けられるものであって、前記倒立顕微鏡本体の設置部より延出され、先端部に脚部を有する延出部が形成された転倒防止部材を具備することを特徴とする倒立顕微鏡転倒防止機構。

【請求項3】

倒立顕微鏡本体に収納される第1の位置及び前記倒立顕微鏡本体の設置部より延出される第2の位置を司るものであって、先端部に脚部を有する延出部が形成された転倒防止部材を具備することを特徴とする倒立顕微鏡転倒防止機構。

【請求項4】

倒立顕微鏡本体に対してそれぞれが独立して取付角度を調整可能に設けられるものであって、前記倒立顕微鏡本体の設置部に収納または延出され、先端部に脚部を有する複数の延出部が形成された転倒防止部材を具備することを特徴とする倒立顕微鏡転倒防止機構。

【請求項5】

さらに、前記転倒防止部材に前記倒立顕微鏡本体の設置部が載置される載置部に固定する固定手段を備えたことを特徴とする請求項1乃至4のいずれか記載の倒立顕微鏡転倒防止機構。